



日本赤十字社
Japanese Red Cross Society
愛知県支部

日赤あいち

広報誌

No. 150

2022. 春

- ▶ 支部長就任挨拶
- ▶ CLOSE UP
ACTION | 防災・減災 — 命のために今うごく —
- ▶ TOPICS
- ▶ 日本赤十字社愛知県支部 令和4年度事業計画と予算の概要
- ▶ クロスサポーターに聞く!! 愛知県司法書士会



5月は
赤十字運動
月間です

皆さまのご協力をお願いいたします

Cross Supporter

愛知県司法書士会

青木 康人 様、山泉 太一 様

活動内容

司法書士は登記手続きや法律事務に関する相談、権利擁護などを行う法律の専門家です。愛知県司法書士会では、社会貢献活動にも県内の司法書士約1300人の力を結集して取り組んでいます。



日本赤十字社愛知県支部と
タイアップし
様々な活動に取り組む
企業、団体、人物を
紹介します。

クロス
サポーターに
聞く!!



○司法書士の仕事について
▼司法書士の仕事について、得意とすることや特徴を教えてください。
司法書士は相続登記や裁判事務を始めとする法的な手続きや、これらの法律相談を通じて争いごとを未然に防ぐ予防法務を得意としています。また、権利の擁護に関しては、司法書士が成年後見人を務める件数は他の士業より多いほどです。

○災害時にも活躍する司法書士が活躍されていると聞きました。どのような活動か教えてください。
東日本大震災の際は、愛知県司法書士会からも司法書士が被災地へ赴き、避難所や仮設住宅で相談業務を行いました。相続手続きをしようにも津波で全て流され、権利関係の書類もないという相談や、住宅ローンの災害時救済に関する相談など、様々な相談を受けました。また、こうした活動は、法的な相談を通じて被災者の方が抱える不安を傾聴し、寄り添う活動でもありました。

愛知県司法書士会では、愛知県や名古屋市中区・日進市・豊橋市・東郷町といった自治体と災害時

の被災者相談業務に関する協定を結んでおり、各自治体からの要請に基づき避難所などで法律問題の相談を行います。

○遺言による寄付について
▼愛知県司法書士会協会の協力により、県内の司法書士の皆様から日本赤十字社が遺贈・相続財産寄付を受け付けていることを紹介するパンフレットを配布しています。日赤あいち読者の皆さまにも遺贈のことで知っていただきたい、ということはありませんか。

遺贈については、思いを遺すために元気づけながら準備しておくことが大切です。

不動産登記に関しては相続の時になって初めて新たな事実が発覚し、遺言者の思いに添えないケースもあります。また、ルールに沿っていない遺言書だと無効になってしまふこともあります。司法書士にご相談いただくことで、そうしたことを未然に防ぎ、思いをきちんと遺せるようサポートできればと思います。

赤十字の活動の特徴は、被災された方、苦しんでいる方に寄り添うことだと思えます。私たち司法書士も、登記手続きや法律事務に関する相談を依頼される方の思いに寄り添って活動を続けていきたいと思っています。

司法書士の専門性を活かして、
思いに寄り添う

活動資金 ご協力ありがとうございます

日本赤十字社愛知県支部へ活動資金として
多額のご寄付をいただいた法人様

- ▶ 中京プラントサービス株式会社 様
- ▶ 一般社団法人日本アルミ鋳造会 様

「クロスサポーターに聞く!!」にて触れている遺贈・相続財産寄付のパンフレットをご希望の方は赤十字会員様までお問合せください。



PRESENT

R+travel. 赤十字ゆかりの地 ガイドブック

全国各地の赤十字ゆかりの地を紹介した冊子です。

10
名所



Mail : aichi-koho@aichi.jrc.or.jp
Fax : 052-971-1586

郵 送 : 〒461-8561 名古屋市中区白壁 1-50
日本赤十字社愛知県支部「日赤あいちプレゼント」係

明記事項 ①お名前 ②郵便番号・ご住所 ③電話番号
④年齢 ⑤「日赤あいち」の入手先 ⑥ご意見・ご感想など

締切/令和4年5月31日必着

日本赤十字社 愛知県支部
Japanese Red Cross Society

日赤あいち

〒461-8561 名古屋市中区白壁 1-50 TEL 052-971-1591 (代表)
発行元/日本赤十字社愛知県支部 発行日/令和4年4月1日



活動の詳細や最新情報はウェブサイトかSNSへ

日赤あいち



Instagram

https://www.jrc.or.jp/chapter/aichi/



令和4年度事業計画と予算の概要

令和4年度における日本赤十字社愛知県支部の事業計画および一般会計歳入歳出予算についてご報告します。

事業計画の概要

◆災害救護活動と救護看護師の養成

大規模災害や豪雨などの局地的な災害の発生に備えて、行政、消防、警察等各種関係機関と連携した救護訓練の実施や、各市町村への救護資材の配備など、災害救護体制のさらなる強化を図ります。また、市町村を会場として、近隣医療機関等と連携した救護訓練を実施し、地域との一層の連携強化を進めるとともに、防災・減災の啓発や知識、技術の普及を目的として、赤十字防災教育事業を展開してまいります。

◆救急法や健康生活支援講習などの普及

人命救助の方法や自立に向けた高齢者の介護方法など、多様なニーズや受講者のライフステージに応じた各種講習を実施いたします。従来の方法に加え、子育て中で講習会場まで来られない方でも受講しやすいオンラインでの開催も推進してまいります。また、多文化共生社会の実現に向けて行政と連携し、「やさしい日本語」によるテキストを活用した講習を通じて、外国にルーツのある方の赤十字事業への参画を進めてまいります。

◆赤十字ボランティアの活動と育成

各地域での赤十字講習の普及、防災教育教材の活用、子ども・子育て世代への支援などに加え、コロナ禍の影響を受ける子ども及び高齢者を対象とした支援活動の推進など、社会ニーズ及び地域課題に対応できるボランティアの主体的な活動を推進してまいります。

◆青少年赤十字の育成と普及

令和4年度に100周年を迎える青少年赤十字には、県内の小・中・高等学校等合わせて全体の約6割が加盟しています。防災教育の推進や学校や地域で活躍できるリーダーの育成など、青少年の健全育成を目的とした各種事業を実施するとともに、さらなる加盟校の増強を図ってまいります。

◆救急医療体制の整備

日本赤十字社愛知医療センター名古屋第一病院、日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院では、地域の中核病院として救急医療をはじめ、周産期医療、小児医療、がん医療、骨髄移植、腎臓移植等の高度な医療の機能を備えた医療体制の充実を図ります。

◆新型コロナウイルス感染症等にかかる取り組み

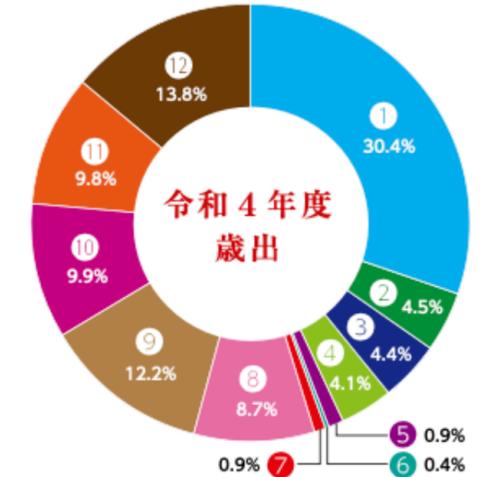
人の集合する形態の事業実施が困難な状況が続いていますが、赤十字の使命を果たすため、オンラインの活用等により事業継続に取り組んでまいります。また、新型コロナウイルス感染症やそれに類する大きな社会状況の変化により予期しない課題が生じた場合は、速やかに対策実施を推進します。

※事業計画の詳細については、日本赤十字社愛知県支部ウェブサイトでご覧いただけます。

一般会計歳入歳出予算の概要

歳入		
内 訳	予算額	
社 資 収 入	1,102,000,000 円	90.1%
委託金・補助金及び交付金収入	8,530,000 円	0.7%
資産収入・雑収入	22,221,000 円	1.8%
前年度繰越金	90,784,000 円	7.4%
合計	1,223,535,000 円	100.0%

歳出		
内 訳	予算額	
① 災害救護事業と救護看護師の養成に	371,910,000 円	30.4%
② 救急法や健康生活支援講習などの普及に	54,609,000 円	4.5%
③ 赤十字ボランティアの活動と育成に	53,262,000 円	4.4%
④ 青少年赤十字の育成と普及に	50,011,000 円	4.1%
⑤ 社会福祉事業などに	11,599,000 円	0.9%
⑥ 血液事業の普及啓発に	5,051,000 円	0.4%
⑦ 国際的な活動に	10,684,000 円	0.9%
⑧ 広報・活動資金募集のために	106,197,000 円	8.7%
⑨ 赤十字病院救急医療体制の整備に	150,007,000 円	12.2%
⑩ 市町村における赤十字活動に	121,400,000 円	9.9%
⑪ 全国的な赤十字活動に	120,150,000 円	9.8%
⑫ 支部の運営に	168,655,000 円	13.8%
合計	1,223,535,000 円	100.0%



ACTION!防災・減災

命のために今うごく!

昨年、東日本大震災から10年の節目を迎えたことを機に、日本赤十字社では過去の災害から得た教訓を未来に活かすための取り組みとして「ACTION!防災・減災」をスタートしました。いざという時、最初に自分を助けられるのは自分自身。今回はPRイベントの様子や赤十字の講習から避難所で役立つ知識をお届けします。

01 パートナーシップ協定を結ぶチームの試合会場でPR!

愛知県支部とパートナーシップ協定を結んでいる名古屋グランパスと三遠ネオフェニックスの試合会場にブース出展しました。当日は赤十字の日々行っている防災の取り組みのPRや、「#あなたの備えがみんなの備え」にキャンペーンに参加していただいた方へ株式会社米常様から提供いただいた備蓄もできるバックご飯を、備えるきっかけにさせていただいたためのサンプルとして配布しました。

三遠ネオフェニックス ―豊橋市総合体育館―

プロバスケットボールチーム三遠ネオフェニックスの試合会場では、豊橋市防災危機管理課と一緒にブース出展しました。「ACTION!防災・減災」のPRに加え、日赤愛知県支部が行政や企業のご協力をいただいて、県内各地に分散して配備している救急セット・安眠セット・毛布などの赤十字の支援物資の紹介も行いました。

当日は1,800人を超えるファンが集まり、赤十字と豊橋市のブースにも多くの方に立ち寄りいただきました。



三遠ネオフェニックスのマスコットキャラクター「ダンカー」も起義車を体験!



避難所で役立つ緊急セットは県内に分散配備しています



ブース来場者には備蓄もできるバックご飯をプレゼント!



豊毛地域プロモーション本部長もPRに駆けつけてくれました!

名古屋グランパス ―豊田スタジアム―

名古屋グランパスの試合が行われた豊田スタジアムには、災害時に救援物資の輸送に使うトラックと啓発ブースのテントを展開しました。当日は多くの方にお越しいただき、キャンペーンのことも知っていただくことができました。



名古屋グランパスの方に「あなたの備え」を聞きました

長期保存できる飲料水を最近入れ替えました。食料品をローリングストックで期限が来る前に入れ替えをしている方も多いと思いますが、5年10年単位で保存のできる防災備蓄用の飲料水も期限を忘れないよう要注意です。(西村さん)

備える場所にも気をつけています。たとえば、非常用持出袋を枕元に置いてあります。真夜中に災害が起きてもすぐ手に取れる場所に用意しておけば、いざという時も慌てずに避難できます。(田中さん)

2020年9月にグランパスを含む東海地区のJリーグ6クラブで「ソナエル東海」を発足しました。「備えを、たのしもう」をコンセプトに防災力向上の取り組みをしています。その活動の一環でグランパスでは楽しく備蓄品を学べるようボールタッチしながら備蓄品を答える「防災キックオフチャレンジ」というSNS企画等、継続して防災に関する活動を行っています。これからもファン・サポーターや地域の皆様とともに「備え」に取り組みしていきます。(高橋さん)



(株)名古屋グランパスエイトホームタワングループ 左から高橋さん、田中さん、西村さん

02 避難所で役立つ知識を身につける

災害時に役に立つ知識を身につけることも、大事な備えの1つです。日本赤十字社では、防災セミナーや学校での防災教育を普段から行っていますが、幼児安全法や健康生活支援講習の中から災害時に役立つ内容をピックアップした災害時生活支援講習も行っています。愛知教育大学で養護教諭を目指す学生を対象に行った災害時生活支援講習では、様々な人が集まる避難所での高齢者支援の方法や避難所にある物を使ってできるケアの方法を紹介しました。今回はその中から一部をご紹介します。

毛布を使ったガウン

寒いときに全身を包み込んで保温します。着たままでも両手を使え、動き回ることができます。※今回は新型コロナウイルス感染症対策として受講者が密になる状況を防ぐため、一人でも着られる方法を紹介しました。

01 寒いときに全身を包み込んで保温します。着たままでも両手を使え、動き回ることができます。※今回は新型コロナウイルス感染症対策として受講者が密になる状況を防ぐため、一人でも着られる方法を紹介しました。

02 着物を着つける要領で毛布で下半身を包み、毛布の下半分だけ腰のあたりで紐で止めます。

03

04 毛布の上半分で上半身を覆い、襟元と袖口を整え、それぞれ洗濯バサミなどで留めれば完成です。

段ボール箱とビニール袋を使った足湯

お風呂に入れない時、足を温めることで血行が良くなり、疲れも取れやすく入浴効果も得られます。

01 段ボール箱の内側にビニール袋を取り付け、その中に38℃～39℃のお湯を入れます。

02 ビニール袋で膝まで覆うと、蒸気で膝下全体が温まり、だんだんと全身が温まります。体験した学生からも「思った以上に温かく、全身ぽかぽかになりました」と好評でした。

支部長就任挨拶

令和4年2月15日から日本赤十字社愛知県支部長に就任いたしました大村秀章でございます。県民の皆様には、日本赤十字社の活動に平素から深いご理解とお力添えを賜り、厚くお礼申し上げます。

日本赤十字社は、「苦しんでいる人を救いたい」という理念のもと、国内外における災害救護活動を始め、医療事業、血液事業、看護師養成事業等幅広い分野で活動しております。

また、一昨年から続く新型コロナウイルス感染症の流行に対しては、感染者の受入れや治療を実施するのはもちろんのこと、このウイルスがもたらす差別・偏見を解消するための啓発活動にも努めるとともに、感染症拡大の状況下において生じた社会ニーズに対応するため、各関係機関と連携を図りながら緊急対策事業を実施してまいりました。こうした赤十字の活動は、県民の皆様からのあたたかいご支援・ご協力によって支えられています。

これからも「人間のいのちと健康・尊厳を守る」という人道的使命に基づき活動を続けてまいりますので、皆様の変わらぬご支援・ご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。



日本赤十字社 愛知県支部 支部長 大村秀章

Topics トピックス

活動やイベントを報告します

外国にルーツのある方を対象とした講習を開催

ポルトガル語での幼児安全法講習を開催しました

愛知県支部は、1月11日に豊田市にあるブラジル人学校EASで教職員を対象として、子どもがケガをした時などの対応方法を学ぶための幼児安全法講習を開催しました。

当日は愛知県支部の指導員がやさしい日本語で説明し、同校の協力で同時通訳を行っていただき母語での講習が実現しました。また、オンラインで他の校舎の教職員の方々にも受講していただき、外国にルーツのある子育てに関する課題について意見交換も行いました。

今後も多文化共生社会の実現に向けた赤十字事業を推進していきます。



オンラインを活用して会場に来られない方も講習を受講しました

令和4年度赤十字運動月間

5月は赤十字運動月間です

日本赤十字社の前身である博愛社の創立記念日が5月1日であることと、赤十字の創始者の1人であるアンリー・デュナン氏の誕生日が5月8日であることから、日本赤十字社では毎年5月を「赤十字運動月間」として、赤十字の理念や活動へのご理解とご協力を呼びかけるPR活動を全国的に展開しています。

愛知県支部でもホームページや公式SNSでの情報発信などを通じ、愛知県内での赤十字の活動を発信していきます。皆様からの温かいご支援をどうぞよろしくお願いいたします。



「ACTION!防災・減災」とは

いざというとき自分自身を守るため、「今」備える行動(ACTION)を呼びかけるキャンペーンです。今年の3月は、新型コロナウイルス感染症の流行をふまえた最新の災害への備えをチェックできる特設サイトの公開や、Twitter上で自分の備えを発信したり、みんなの備えから学ぶ「#あなたの備えがみんなの備え」にキャンペーンを実施しました。愛知県内でも賛同企業からのご支援や、ポスター掲示・キャンペーンPR動画の上映などのかたちでご協力をいただきました。

